

商品名 ゼプリオン水懸筋注25mgシリンジ 医薬品基本情報

薬効	1179 その他の精神神経用剤	一般名	パリペリドンパルミチン酸エステルキット
英名	Xeplion	剤型	キット類
薬価	17160.00	規格	25mg 1キット
メーカー	ヤンセンファーマ	毒劇区分	(劇)

ゼプリオン水懸筋注25mgシリンジの効能・効果

統合失調症

ゼプリオン水懸筋注25mgシリンジの使用制限等

- 昏睡状態、中枢神経抑制剤の強い影響下、アドレナリン投与中<アナフィラキシー救急治療・歯科浸潤又は伝達麻酔除く>、クロザピン投与中、類薬で過敏症の既往歴、本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、リスペリドンに対し過敏症の既往、中等度から重度腎機能障害、クレアチニン・クリアランス50mL／分未満、急激な精神興奮、複数の抗精神病薬の併用を必要とする、不安定な精神症状、クレアチニン・クリアランス50mL／分未満の腎機能障害
- パリペリドン又はリスペリドンでの治療経験がない、軽度腎機能障害、クレアチニン・クリアランス50mL／分以上80mL／分未満
- 糖尿病又はその既往、糖尿病の危険因子を有する、低血圧又はその恐れ・疑い、心・血管系疾患又はその恐れ・疑い、不整脈の既往、先天性QT延長症候群、パーキンソン病、レビー小体型認知症、痙攣性疾患又はその既往、てんかん又はその既往、自殺企図の既往、自殺念慮、糖尿病の家族歴、高血糖、肥満、栄養不良状態を伴う身体的疲弊、脱水を伴う身体的疲弊、脱水状態、長期臥床、不動状態、軽度腎機能障害、肝機能障害、高齢認知症

記載場所	使用上の注意
------	--------

注意レベル	禁止
-------	----

記載場所	用法・用量
------	-------

注意レベル	注意
-------	----

記載場所	使用上の注意
------	--------

注意レベル	注意
-------	----

ゼプリオン水懸筋注25mgシリンジの副作用等

- 高血糖悪化、糖尿病悪化、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡、口渇、多飲、多尿、頻尿

記載場所	重大な副作用
------	--------

頻度	頻度不明
----	------

2. 悪性症候群、無動緘黙、強度筋強剛、嚥下困難、頻脈、血圧変動、発汗、発熱、白血球増加、血清CK上昇、ミオグロビン尿、腎機能低下、高熱が持続、意識障害、呼吸困難、循環虚脱、脱水症状、急性腎障害、死亡、遅発性ジスキネジア、口周部不随意運動、不随意運動、腸管麻痺、食欲不振、悪心、嘔吐、著しい便秘、腹部膨満、腹部弛緩、腸内容物うっ滞、麻痺性イレウス、悪心を不顕性化、嘔吐を不顕性化、低ナトリウム血症、低浸透圧血症、尿中ナトリウム排泄量増加、高張尿、痙攣、抗利尿ホルモン不適分泌症候群、SIADH、黄疸、筋肉痛、脱力感、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、横紋筋融解症、脳血管障害、低血糖、倦怠感、冷汗、振戦、傾眠、低血糖症状、無顆粒球症、白血球減少、深部静脈血栓症、肺塞栓症、静脈血栓症、血栓塞栓症、息切れ、胸痛、四肢疼痛、浮腫、持続勃起症、アナフィラキシー

記載場所	重大な副作用
頻度	頻度不明

3. 高血糖

記載場所	重大な副作用
頻度	5%未満

4. AST上昇、ALT上昇、 γ -GTP上昇、肝機能障害、不整脈、心房細動、心室性期外収縮

記載場所	重大な副作用
頻度	5%未満

5. 高プロラクチン血症、不眠症、精神症状、アカシジア、注射部位疼痛、注射部位硬結

記載場所	その他の副作用
------	---------

6. 気道感染、肺炎、咽頭炎、鼻炎、腔感染、皮膚真菌感染、白癬感染、貧血、ヘマトクリット減少、脾腫、血小板数増加、好塩基球数増加、血中鉄減少、好中球百分率増加、好酸球百分率増加、リンパ球数増加、季節性アレルギー、低ナトリウム血症、食欲不振、過食、電解質失調、高コレステロール血症、低蛋白血症、総蛋白減少、血中電解質異常、血中インスリン増加、インスリンCペプチド増加、悪夢、睡眠障害、リビドー減退、セルフケア障害、自傷行動、自殺企図、睡眠時遊行症、失神、パーキンソン歩行、てんかん、健忘、精神的機能障害、末梢性ニューロパシー、筋緊張亢進、大発作痙攣、嗜眠、運動過多、後弓反張、会話障害、舌麻痺、結膜炎、注視麻痺、眼部不快感、眼精疲労、耳痛、耳鳴、耳管障害、洞性徐脈、頻脈、洞性不整脈、房室ブロック、心電図異常、左脚ブロック、心電図QT補正間隔延長、心拍数増加、低血圧、虚血、鼻閉、鼻出血、誤嚥性肺炎、間質性肺疾患、鼓腸、舌腫脹、口唇炎、胃不快感、下腹部痛、逆流性食道炎、胃腸障害、胃潰瘍、痔核、腸管虚血、齲蝕、口内炎、舌痛、脂肪肝、皮膚乾燥、脂漏性皮膚炎、血管浮腫、皮膚炎、顔面感覚鈍麻、皮膚剥脱、寝汗、逆むけ、全身性蕁麻疹、関節痛、筋痙攣、関節周囲炎、椎間板突出、筋痛、筋拘縮、斜頸、女性化乳房、乳房分泌、乳房痛、前立腺炎、口渇、無力症、体温低下、体温上昇、薬剤離脱症候群、低体温、易刺激性、不快感、末梢性浮腫、血中尿酸増加、血中尿素減少、血中クレアチニン増加、尿中ウロビリリン陽性、転倒

記載場所	その他の副作用
頻度	頻度不明

7. 鼻咽頭炎、脂肪腫、白血球数増加、好酸球数増加、ヘモグロビン減少、過敏症、食欲減退、トリグリセリド増加、多飲症、高脂血症、糖尿病、食欲亢進、血中ブドウ糖増加、血中コレステロール増加、不安、攻撃性、幻聴、妄想、自殺念慮、激越、自殺既遂、抑うつ気分、幻覚、初期不眠症、被害妄想、落ち着きのなさ、身体妄想、錐体外路障害、振戦、頭痛、ジストニー、痙攣、パーキンソニズム、傾眠、浮動性めまい、体位性めまい、ジスキネジア、感覚鈍麻、鎮静、運動緩慢、構語障害、構音障害、頭部動揺、眼球回転運動、霧視、回転性めまい、徐脈、上室性期外収縮、右脚ブロック、動悸、洞性頻脈、心電図QT延長、起立性低血圧、高血圧、誤嚥、咳嗽、咽喉頭疼痛、便秘、悪心、下痢、流涎過多、嘔吐、嚥下障害、腹部不快感、上腹部痛、口内乾燥、腹痛、胃炎、歯肉炎、歯痛、ALT増加、 γ -GTP増加、血中ビリルビン増加、ALP増加、AST増加、肝機能検査異常、LDH増加、発疹、皮膚そう痒症、湿疹、ざ瘡、紅色汗疹、筋固縮、筋骨格痛、四肢痛、背部痛、頸部痛、筋骨格硬直、尿潜血、排尿困難、神経因性膀胱、頻尿、尿失禁、尿閉、蛋白尿、不規則月経、無月経、乳汁漏出症、月経困難症、射精障害、性機能不全、勃起不全、注射部位腫脹、注射部位紅斑、注射部位熱感、注射部位そう痒感、倦怠感、疲労、注射部位炎症、発熱、胸部不快感、注射部位血腫、浮腫、体重増加、体重減少、CK増加、血圧低下、血圧上昇、尿糖陽性、グリコヘモグロビン増加

記載場所	その他の副作用
頻度	5%未満

8. 高血糖悪化、糖尿病悪化、糖尿病性ケトアシドーシス、糖尿病性昏睡、口渇、多飲、多尿、頻尿

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

9. 低血糖、脱力感、倦怠感、冷汗、振戦、傾眠、意識障害、低血糖症状

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

10. 起立性低血圧、低血圧、一過性血圧降下、QT延長、悪性症候群、錐体外路症状悪化、錯乱、意識レベル低下、転倒、体位不安定、肺塞栓症、静脈血栓症、血栓塞栓症、哺乳障害、傾眠、呼吸障害、振戦、筋緊張低下、易刺激性、離脱症状、錐体外路症状、鎮静、頻脈、トルサード・ド・ポアン、心室細動、疼痛、硬結、突然死、死亡率上昇、術中虹彩緊張低下症候群、嘔吐症状を不顕性化、乳腺腫瘍、下垂体腫瘍、膵臓内分泌部腫瘍

記載場所	使用上の注意
頻度	頻度不明

ゼプリオン水懸筋注25mgシリンジの相互作用

1. 薬剤名等：アドレナリン

発現事象	作用を逆転させ血圧降下
理由・原因	アドレナリンはアドレナリン作動性 α 、 β 受容体の刺激剤であり、本剤の α 受容体遮断作用により β 受容体刺激作用が優位となり、血圧降下作用が増強

投与条件	-
指示	禁止

2. 薬剤名等：クロザピン

発現事象	-
理由・原因	クロザピンは原則単剤で使用し、他の抗精神病薬とは併用しない、本剤が血中から消失するまでに時間を要する

投与条件	本剤が体内から消失するまで
指示	禁止

3. 薬剤名等：中枢神経抑制剤

発現事象	相互に作用を増強	投与条件	-
理由・原因	本剤及びこれらの薬剤の中樞神経抑制作用	指示	慎重投与

4. 薬剤名等：経口抗精神病薬等

発現事象	-	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

5. 薬剤名等：ドパミン作動薬

発現事象	相互に作用を減弱	投与条件	-
理由・原因	本剤はドパミン遮断作用を有していることから、ドパミン作動性神経において作用が拮抗	指示	注意

6. 薬剤名等：降圧薬

発現事象	降圧作用が増強	投与条件	-
理由・原因	本剤及びこれらの薬剤の降圧作用	指示	注意

7. 薬剤名等：アルコール

発現事象	相互に作用を増強	投与条件	-
理由・原因	アルコールは中枢神経抑制作用を有する	指示	注意

8. 薬剤名等：カルバマゼピン

発現事象	本剤の血中濃度が低下	投与条件	-
理由・原因	本剤の排泄、代謝を促進し、吸収を低下	指示	注意

9. 薬剤名等：QT延長を起こすことが知られている薬剤

発現事象	QT延長	投与条件	-
理由・原因	QT延長作用が増強	指示	注意

10. 薬剤名等：アドレナリン含有歯科麻酔剤

発現事象	血圧降下	投与条件	-
理由・原因	アドレナリンはアドレナリン作動性 α 、 β 受容体の刺激剤であり、本剤の α 受容体遮断作用により β 受容体刺激作用が優位となり、血圧降下作用が増強	指示	注意

ゼプリオン水懸筋注25mgシリンジの配合変化

1. 薬剤名等：他の注射液

発現事象 -

理由・原因 -

投与条件 -

指示 禁止



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.